

#### IV 具体的な施策・事業

基本目標を達成するために、施策の方向と主な施策を示します。

### 基本目標1 市民一人ひとりの生涯にわたる自主的な学習を支える図書館

市民一人ひとりの自主的・自発的な学習活動を支え、市民の誰もが、いつでも、どこでも、等しく公平な図書館サービスを受けられるよう、魅力ある蔵書の構築やサービスの充実を図り、身近で便利で自由に利用できる図書館環境を実現します。

#### 【施策の方向】

- ① 市民が、だれでも、どこに住んでいても、図書館サービスを利用できる仕組みづくりを目指します。

主な施策
●市立図書館の中央図書館としての再整備
●中央区内上溝地域図書館の整備、南区内相武台分館の在り方の検討
●緑区内図書館網の整備（津久井地域の図書館機能の在り方の検討）
●公民館等図書室の機能の充実
●迅速な資料配送システムの構築
●図書館電算システムの機能向上
●図書館情報の発信
●図書館未利用者へのPRの充実

- ② 市民のニーズに応えることができる豊富な蔵書と情報体系を構築します。

主な施策
●専門書の充実
●紙媒体、電子媒体などの蔵書の充実とインターネットを活用した効率的な資料・情報提供の推進
●豊富な資料を適切に保管できる書庫の確保・充実

- ③ 乳幼児から高齢者までのすべての世代と、障害者や外国人市民へのきめ細かいサービスを提供します。

主な施策
●すべての世代に応じた図書館サービスの充実
●高齢者・障害のある人のための資料（大活字本、朗読CD、点字図書、DAISY〈デイジー〉図書等）の充実
●高齢者施設等への団体貸出の拡充及びボランティアとの協働による出向サービスの実施
●外国語図書の充実及び多言語による情報サービスの提供

④ より効果的・効率的で質の高い図書館運営を目指します。

主な施策
● 1人当たりの貸出点数の拡充の検討
● 休館日の工夫
● 窓口業務等の民間委託の検証・評価を踏まえた効率的な図書館運営の確立
● 図書館の運営状況評価の確立、実施及び公表
● 図書館、視聴覚ライブラリーの資料及び提供サービスの一体化の推進

＜成果指標＞

	指 標	単 位	現状値 (H20)	目 標 (H31)	指標の説明等
1	市民1人当たりの蔵書冊数	冊	1.9	2.5	市民のニーズに応える図書館の実現度を示す指標 市民の資料選択を広げる観点から増加目標を設定
2	市民1人当たりの貸出冊数	冊	4.8	5.3	市民が求める資料に対して、図書館がどの程度応えているかを測る指標 図書館サービスの充実等により増加目標を設定

## 基本目標2 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館

暮らしに身近な、医療・健康の情報や、法律に関する情報、就業や食に関する事など、様々な生活課題に対応する資料や情報を提供するとともに、市民が抱えている地域の課題の解決に役立つ図書館を目指します。

### 【施策の方向】

- ① 日々の暮らしや仕事、地域の特性やまちづくりなど、地域の課題に応える情報を提供・発信します。

主な施策
●地域の情報拠点として、市民が必要とする情報の収集・発信
●レファレンスツールの充実
●司書等専門職員の確保と育成
●レファレンス事例のデータベース化や索引作成による情報提供
●市内・近隣大学との連携による共同事業の実施
●企業や関連機関との連携による情報提供の充実
●ビジネス支援の拡充（講座の開催、出張相談、情報の収集・発信）

- ② 市民自らがインターネット等により情報を取得できるように、ICT（情報通信技術）環境を整備します。

主な施策
●公衆無線 LAN の整備
●インターネット利用者端末機の増設

### 〈成果指標〉

	指標	単位	現状値 (H20)	目標 (H31)	指標の説明等
1	レファレンスの 受付件数	件	33,837	50,000	レファレンスサービスの利用により、市民に役立つ図書館となっているかを判断する指標 レファレンス事例の公開や図書館サービスの充実等により増加目標を設定
2	参考図書 蔵書数	冊	53,809	100,000	市民が調査・研究などのために必要とする資料が充実しているかを見る指標 蔵書割合により増加目標を設定

## 基本目標3 学校・家庭・地域を結び、地域教育力の向上を支える図書館

図書館と学校や家庭、地域が連携し、次代を担う子どもたちが、読書を通じて楽しく学びあう環境づくりを進めます。大人や地域が子どもたちに関わることにより、それぞれの教育力の向上を支援します。

また、学校図書館の充実のため、支援体制を整備するとともに、図書館と学校間の情報交換を積極的に行うなど、相互の連携強化を図ります。

### 【施策の方向】

#### ① 子どもたちの読書活動と自主的な学習活動を支援します。

主な施策
●読書の楽しさを知るきっかけづくり事業の実施
●学習課題解決の支援（調べ学習・自由研究の援助等）
●子どもを対象とした郷土資料の紹介や情報発信
●外国籍や障害のある子どものための資料収集・提供

#### ② 子どもの読書環境を整備し充実に努めます。

主な施策
●「相模原市子ども読書活動推進計画」の改定

#### ③ 地域における家庭教育支援事業に協力します。

主な施策
●子育て支援コーナーの開設や交流の場の提供
●保護者のための図書館利用講座や読書相談の実施

#### ④ 学校との連携を強化し、学校図書館への支援を充実します。

主な施策
●団体貸出制度の拡充
●資料情報の提供・情報交換の実施
●学校図書館支援センター機能の検討

#### ⑤ 公民館等社会教育施設や大学図書館など、関連施設との連携を促進します。

主な施策
●公民館、博物館、総合学習センター及び大学図書館等との子ども読書活動推進事業の実施

### 《成果指標》

	指標	単位	現状値 (H20)	目標 (H31)	指標の説明等
1	子どもの貸出冊数	冊	748,120	898,000	子ども(18歳以下)の図書館利用がどの程度促進されたかを測るための指標 子どもの読書環境の整備により増加目標を設定
2	おはなし会参加者数	人	7,976	11,000	子どもが本と触れ合う機会の提供と家庭教育支援について、どの程度貢献しているかを判断する指標

## 基本目標4 郷土の歴史と特性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館

相模原市の人や文化、歴史に関する郷土資料は、市民の大切な財産です。図書館は、地域の記録や記憶を財産として蓄積・継承し、次代に伝える役割を担っています。郷土資料を網羅的に収集し、適切な整理・保存を行い、市民が活用できるよう整備して、地域性豊かな市民文化を創造します。

### 【施策の方向】

#### ① 郷土資料を収集・保存し、未来へ継承します。

主な施策
●ホームページを活用した郷土資料の情報発信
●郷土資料の収集とデジタル化の推進
●博物館・市史編さん室・行政資料コーナー等との連携強化
●『相模原著作者目録』の充実
●郷土映像資料の収集・保存・公開、貴重な映像資産の保存と次世代への継承 (視聴覚ライブラリー関連)

#### ② 文字・活字文化の振興・発展に貢献します。

主な施策
●市民活動資料の収集・保存
●市内大学等との連携による講座の開催
●「文字・活字文化の日」関連事業の実施

### 《成果指標》

	指標	単位	現状値 (H20)	目標 (H31)	指標の説明等
1	郷土資料の蔵書数	点	60,833	95,000	次世代に継承するために、本市に関する資料の収集が十分に行われているかを判断する指標 関連機関との連携や市民の協力等により増加目標を設定

## 基本目標5 人と本、人と人との出会いを広げ、ゆとりとぬくもりが感じられる図書館

生涯学習の機会や活動、交流の場を提供するとともに、学習の成果を発表したりボランティア活動として社会参加するきっかけづくりを行います。

そして、誰もが気軽に立ち寄れる、居心地の良い空間を提供し、子どもから大人までが読書や学習の場として、くつろげ、潤いのある市民のオアシスとなる図書館を目指します。

### 【施策の方向】

- ① 生涯学習の機会や活動・発表の場、交流の場、心の潤いを満たす場となる図書館を目指します。

主な施策
●朗読会、読書会等の開催
●学習活動や調べものに役立つための講座の開催
●学習の成果を発表する場の提供
●飲食スペースやラウンジの設置（市立図書館再整備関連）

- ② 市民とのパートナーシップを推進し、市民とともに成長する図書館を目指します。

主な施策
●ボランティアの養成・支援
●市民との協働による図書館サービスの実施
●視聴覚教育団体の育成及び共同事業の実施（視聴覚ライブラリー関連）
●映像ボランティア（映像の撮影・提供）の発掘と育成、活動拠点・機器の整備（視聴覚ライブラリー関連）

### ＜成果指標＞

	項目	単位	現状値 (H20)	目標 (H31)	指標の説明等
1	講座・講演会等の参加者数	人	632	3,000	講座・講演会等の参加者数により、市民の生涯学習にどの程度貢献しているかを測る指標 市民との共催による講座の実施等により増加目標を設定

## V 計画の推進に向けて

この計画は、次の5つの視点を踏まえて推進します。

- この計画の進行管理は、3図書館が行い、各種統計や市民アンケート、市政に関する世論調査等の結果や成果指標を参考に、実施状況を検証し、図書館協議会に随時報告します。
- 運営状況については、毎年度、自己評価の結果を図書館協議会に報告するとともに、市民に公表します。
- 運営状況の評価については、この計画における事業等の推進に活用します。
- この計画で掲げた施策の実現に向けて、必要に応じて個別のサービスプランを作成します。
- 計画策定後の社会経済情勢、図書館を取り巻く環境の変化などにより、見直しが必要となった場合には、適宜計画の見直しを行います。

